

東京本部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエアウエストタワー12F
代表電話番号: 03-6266-8008
代表FAX番号: 03-6266-8000

デリバリー&サービス本部

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-2-1
アルカイーストビル7F

端末本部

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-8-10
住友不動産九段ビル10F

大阪オフィス

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田三丁目3番20号
明治安田生命大阪梅田ビル 14F
代表電話番号: 06-4560-6300
代表FAX番号: 06-6342-4331

横浜研究所

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町3-1
コンカード横浜19F

東京研究所

〒108-0075 東京都港区港南2-16-4
品川グランドセントラルタワー 7F

大阪研究所

〒530-6106 大阪府大阪市北区中之島3-3-23
中之島ダイビル6F

購買認証センター

〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目2番1号
京橋エドグラン24F

製造技術センター船橋ラボ

〒274-0052 千葉県船橋市鈴身町448-19

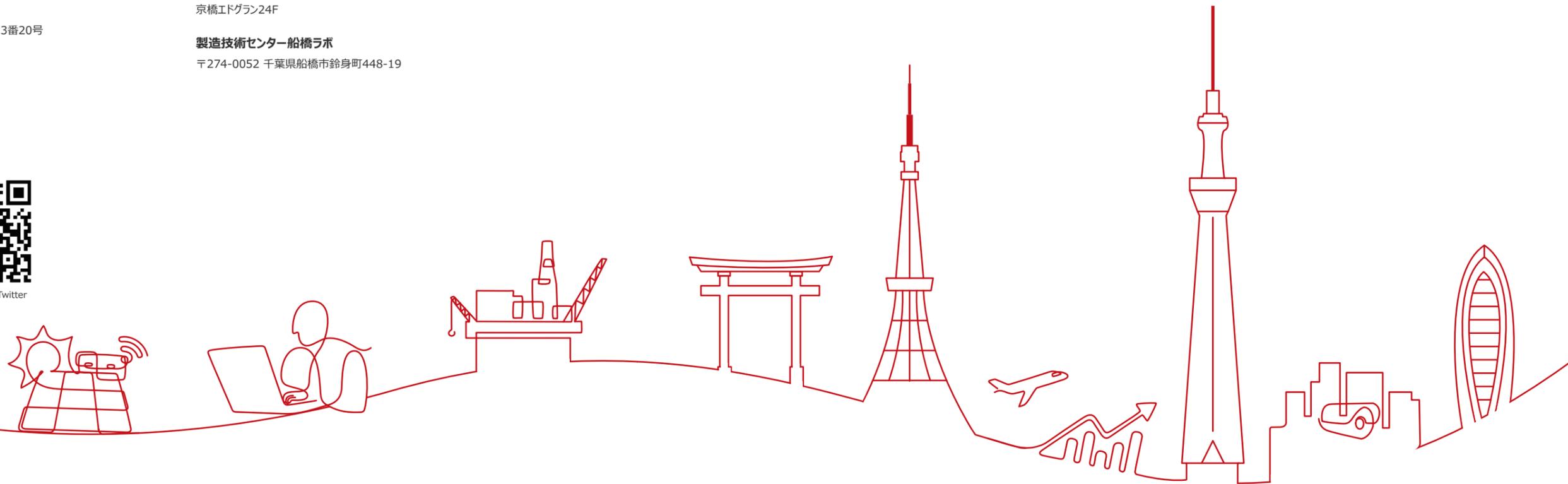
www.huawei.com/jp



Huawei Japan Facebook



Huawei Japan Twitter



Copyright © Huawei Technologies Co., Ltd. 2020. All rights reserved.

General Disclaimer

The information in this document may contain predictive statements including, without limitation, statements regarding the future financial and operating results, future product portfolio, new technology, etc. There are a number of factors that could cause actual results and developments to differ materially from those expressed or implied in the predictive statements. Therefore, such information is provided for reference purpose only and constitutes neither an offer nor an acceptance. Huawei may change the information at any time without notice.

HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

Huawei Industrial Base
Bantian Longgang
Shenzhen 518129, P.R. China
Tel: +86-755-28780808

www.huawei.com



古紙パルプ配合率70%再生紙を使用



HUAWEI

あらゆる人、家庭、組織にデジタル化の価値を提供し
すべてがつながったインテリジェントな世界を実現する

BRING DIGITAL TO EVERY PERSON, HOME AND
ORGANIZATION FOR A FULLY INTELLIGENT,
CONNECTED WORLD



ファーウェイについて

ファーウェイ（中国語表記：華為技術、英語表記：HUAWEI）は、1987年に中国・深センに設立された従業員持株制による民間企業であり、ICTインフラストラクチャとスマートフォンプロバイダーです。約19.4万人以上の従業員の献身とお客様志向のイノベーション、お客様との強い信頼関係により、通信事業者向けネットワーク事業、法人向けICTソリューション事業、コンシューマー向け端末事業の分野においてエンドツーエンドの競争優位性を確立しています。ファーウェイは通信事業者、企業、消費者の皆様にも最大の価値をもたらすべく、競争力の高い製品やサービスを170か国以上で提供し、世界30億人にもおよぶ人々のICTソリューションニーズに応えています。

ファーウェイは通信業界で長年培ってきた経験やノウハウを生かし、あらゆるものがつながった新たな価値を生み出す肥沃な土壌を醸成し、デジタル化がもたらす利益を誰もが享受できるよう尽力しています。またファーウェイは、環境に配慮したソリューションを提供することでお客様の電力消費や二酸化炭素排出量、リソース・コストの削減を実現し、持続可能な社会の形成、経済の発展に貢献しています。

ファーウェイ・ジャパンについて

2005年に設立されたファーウェイ・ジャパン（華為技術日本株式会社）は、2020年6月現在950人以上の従業員を擁し、そのうち78%以上が現地採用となっています。通信事業者向けネットワーク事業、法人向けICTソリューション事業、コンシューマー向け端末事業の3つの事業分野を柱とし、日本市場のお客様のニーズに応える幅広い製品やサービスを提供しています。

日本はファーウェイにとって重要な調達市場でもあります。日本国内計4ヶ所の研究開発センターとラボにおいて、グローバル市場に向けた技術の研究や部品・部材の調達を実施し、優れた技術を持つ日本のサプライヤーとの協業関係を積極的に構築しています。

コーポレートアウトライン

世界**30億人**に「つながる喜び」を提供

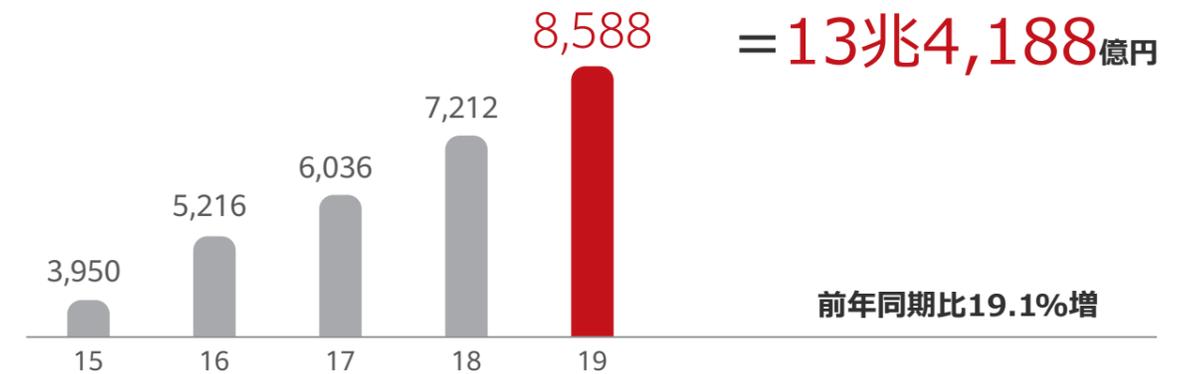
- 従業員数合計**194,000**人
うちR&D従業員数**96,000**人以上
- 100%**従業員が出資する民間企業
創業者任正非の出資比率**1.04%**
- 170**以上の国と地域で事業展開
- 世界の**30億人**へサービス提供
- Fortune Global 500 **61**位 (2019年)
- 取得特許数**85,000**件以上



フィナンシャルハイライト

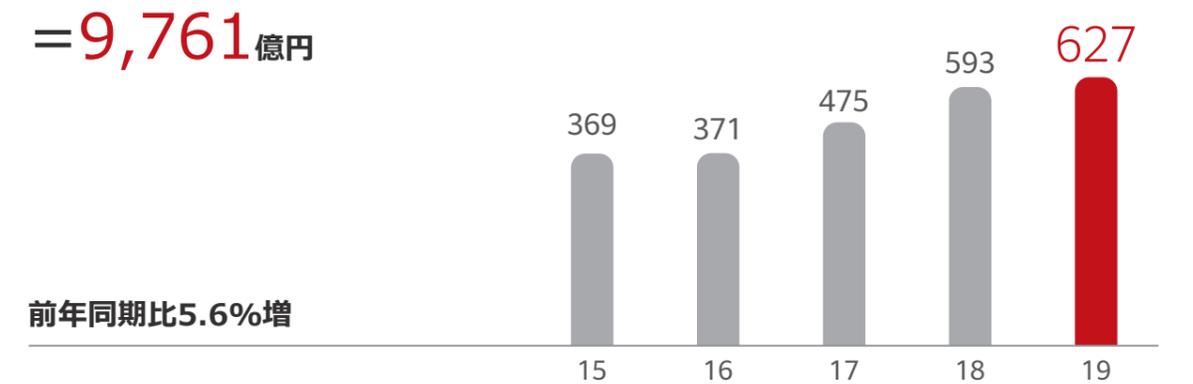
(単位：億人民元)

2019年の売上



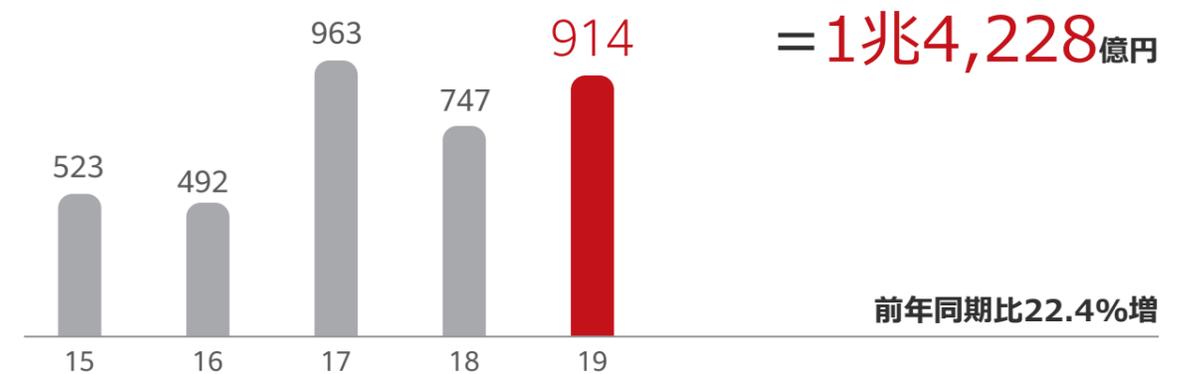
2019年の純利益

(単位：億人民元)



(単位：億人民元)

2019年の営業活動によるキャッシュフロー



注：2019年12月31日レートを適用

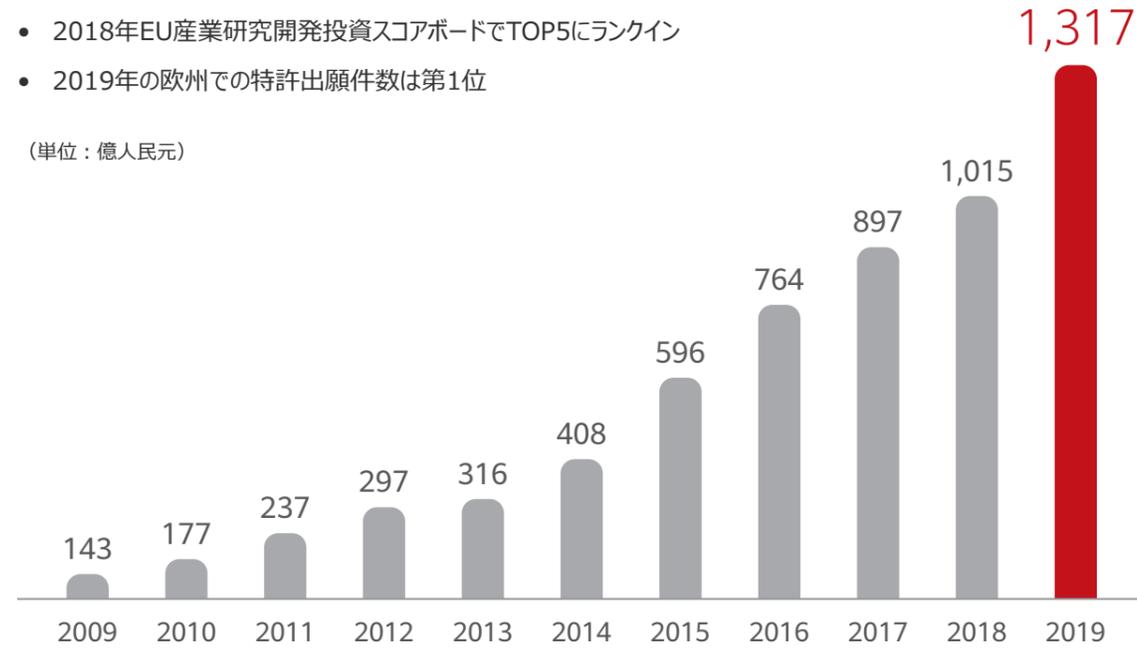
研究開発への持続的な投資が テクノロジーのブレークスルーを後押し

直近10年の研究開発費合計 **9兆3,750** 億円超

(注：2019年12月31日レートを適用)

- 年間の研究開発費が売上に占める割合は **10%超**、2019年は **15.3%**に
- 2018年EU産業研究開発投資スコアボードでTOP5にランクイン
- 2019年の欧州での特許出願件数は第1位

(単位：億人民元)



85,000 件超の特許を取得



そのうち、中国以外の特許

50,000 件超



2019年は **5,000** 件以上の
標準化提案、累計
約 **60,000** 件を提案

ウィンウィン関係を目指し グローバルパートナーと共に成長



13,000 超
グローバルパートナー



400 超
標準化・オープンソース団体



130 万
端末開発者



160 万
ICT開発者



21 の
オープンラボ



36 の共同
イノベーションセンター



300 以上の
大学と提携



900 以上の
研究機関と協業

日本に根ざし、お客様の成功と社会の 継続的な発展に貢献するファーウェイ・ジャパン

通信事業者向け ネットワーク事業

業界をリードする5Gソリューションにより高性能で安全なネットワーク構築と迅速な大規模商用展開を実現。
通信事業者のビジネス領域の拡大とイノベーションを通じた新たな成長を支援します。

製品



無線ネットワーク



固定ネットワーク



クラウドコアネットワーク



ITインフラストラクチャ

ソリューション



サービスのクラウド化



設備のクラウド化



ネットワークのクラウド化



ネットワーク価値の最大化

コンシューマー向け 端末事業

グローバル市場での競争力を強みに日本市場のニーズに寄り添い優れたユーザー体験をもたらす製品を幅広く展開しています。



スマートフォン



ノートパソコン



タブレット



ウェアラブル



アクセサリ



モバイルブロードバンド

法人向け ICTソリューション事業

世界が認める製品・ソリューションを現地化し、さまざまな企業のICT戦略をサポートしてデジタル変革の実現を支援します。

製品



スイッチ



ルーター



WLAN



ストレージ



トランスポートネットワーク



アクセスネットワーク



テレプレゼンス&ビデオ会議

ソリューション



クラウドデータセンター



SDN



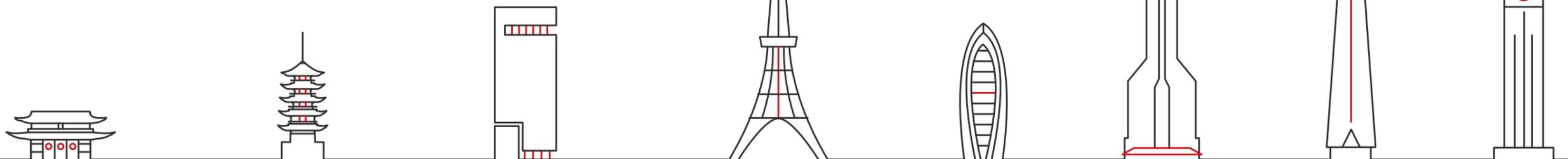
クラウドコンピューティング



IPハードパイプソリューション



スマートソーラーソリューション



日本の強みとなる技術分野に合わせた 様々な形式の協業によりウィンウィンを実現

2010年に日本における研究開発をスタート。2013年に横浜市に研究所を拡張移転、2016年から品川と大阪に新たな研究所を設立、千葉県船橋市に製造技術センター船橋ラボを開設しました。優れた技術力や研究開発力を持つ企業や大学とのパートナーシップを強化し、市場ニーズの先を見据えたイノベーションを推進しています。

日本の優れた科学技術基盤、豊富かつ優秀な人材、およびオープンなビジネス環境はファーウェイのイノベーションを後押しする重要な要素となっています。



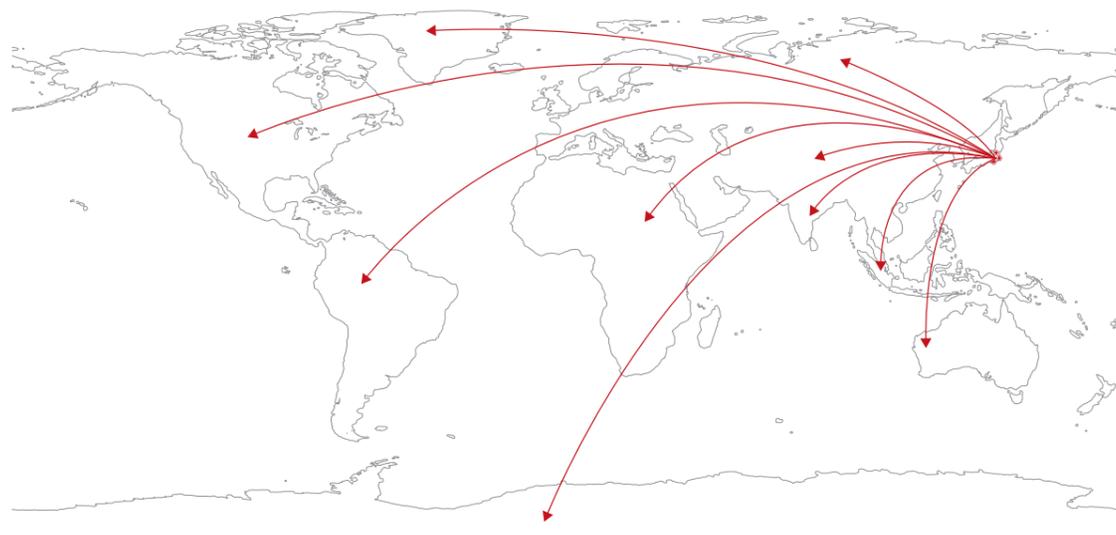
研究開発および研修



約**400人**のスタッフを研究開発
要員として雇用しています。



6億5,500万円
2018年、スタッフの研修目的に支出しました。



日本企業との共存共栄を目指す 緊密なパートナーシップ

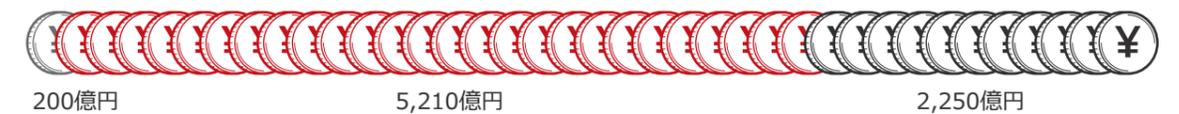
私たちの継続的なイノベーションには、高い技術力を持つ日本のサプライヤーの部品やモジュールが重要な役割を果たしています。日本のパートナー企業から調達した優れた技術や部品、モジュールを採用した製品を世界に展開することで、Win-Winの関係を構築し、日本企業の事業拡大や業界の発展に貢献しています。

経済効果

● 直接的効果 ● サプライチェーン ● 賃金支出

日本のGDPに対して、約7,660億円の貢献

2018年、ファーウェイは、日本のGDPに約**7,660億円**の貢献をしました。
これは、2014年のGDPに対する寄与率と比較して、実質3倍以上です。



年間46,400人の日本における雇用を創出

2018年、ファーウェイは、約**46,400人**の雇用をもたらしました。
これは、2014年と比較すると**3倍以上**です。



日本での事業活動による2,080億円の税収

2018年、ファーウェイの日本国内事業は約**2,080億円**の税収を生み出しました。
これは、2014年と比較すると、実質**3倍**になります。



注：上記のデータは2019年11月にオックスフォード経済研究所が発表した報告書『ファーウェイ日本経済への貢献』から抜粋したものです。QRコードよりご覧いただけます。



現地に根ざした着実なローカル事業展開

現地人材を活用

東京・大阪・横浜など国内に9つの事業所を開設。

950名の従業員のうち78%を現地で採用し、2012年以降は新卒採用も実施するなど、現地人材を生かしたローカルイズされた事業展開を行っています。

主な加盟団体

2011年には経団連に初の中国企業として加盟し、2014年に日中経済協会、2019年に経団連にも加盟しました。日本国内のさまざまな業界団体、標準化団体、NPO団体にも積極的に参加し、日本のICT業界の一員として貢献を続けています。

- 情報通信技術委員会 (TTC)
- Industrial Value Chain Initiative
- 第5世代モバイル推進フォーラム (5GMF)
- ITS情報通信システム推進会議
- 電波産業協会 (ARIB)
- ITS Japan
- 日本ケーブルテレビ連盟 (JCTA)
- Segment Routing over IPv6 (SRv6) Consortium
- 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
- (Wi-Biz)無線LANビジネス推進連絡会
- 日本ディーラーニング協会
- 経団連自然保護協議会
- 日本Data Center協会
- 日本科学技術振興財団・科学技術館
- 放送サービス高度化推進協会
- 日本フィランソピー協会
- Edgecross コンソーシアム
- NPO法人テレマーケティング推進協議会

日本の未来づくりに向けたCSR活動

復興支援活動

東北震災の復興支援として、震災直後の通信復旧や寄付にとどまらず、震災から9年を経た現在も復興に向けて歩み続ける被災地をサポートしています。

東日本大震災後のネットワーク復旧や物資救援活動



基地局の復旧作業を行うファーウェイ社員たち

新型コロナウイルス対策の支援として、携帯端末と医療用物資を寄付



寄付先よりいただいた感謝状

環境保全

環境に優しい製品やソリューションの提供、社内の資源利用効率の改善により二酸化炭素排出の削減と省エネルギー化に努めるほか、経団連自然保護協議会の一員としての活動にも積極的に参加しています。

東北復興支援プロジェクトの整備に協力



ファーウェイ社員を含むプロジェクトに参加した経団連自然保護協議会のメンバーたち

グローバルICT人材育成

世界各国で実施しているICT人材育成の経験をもとに、日本のみならず世界での活躍を視野に入れて、通信の未来を担う人材育成を産業界に貢献支援しています。

グローバルICT研修プログラム

「Seeds for the Future」を実施



2019年度「Seeds for the Future」ICT研修プログラムに参加した学生たち

